

暁木会会員 各位

平成 16 年 3 月 吉日
神戸大学 暁木会

平素は、暁木会発展のため、ご支援とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

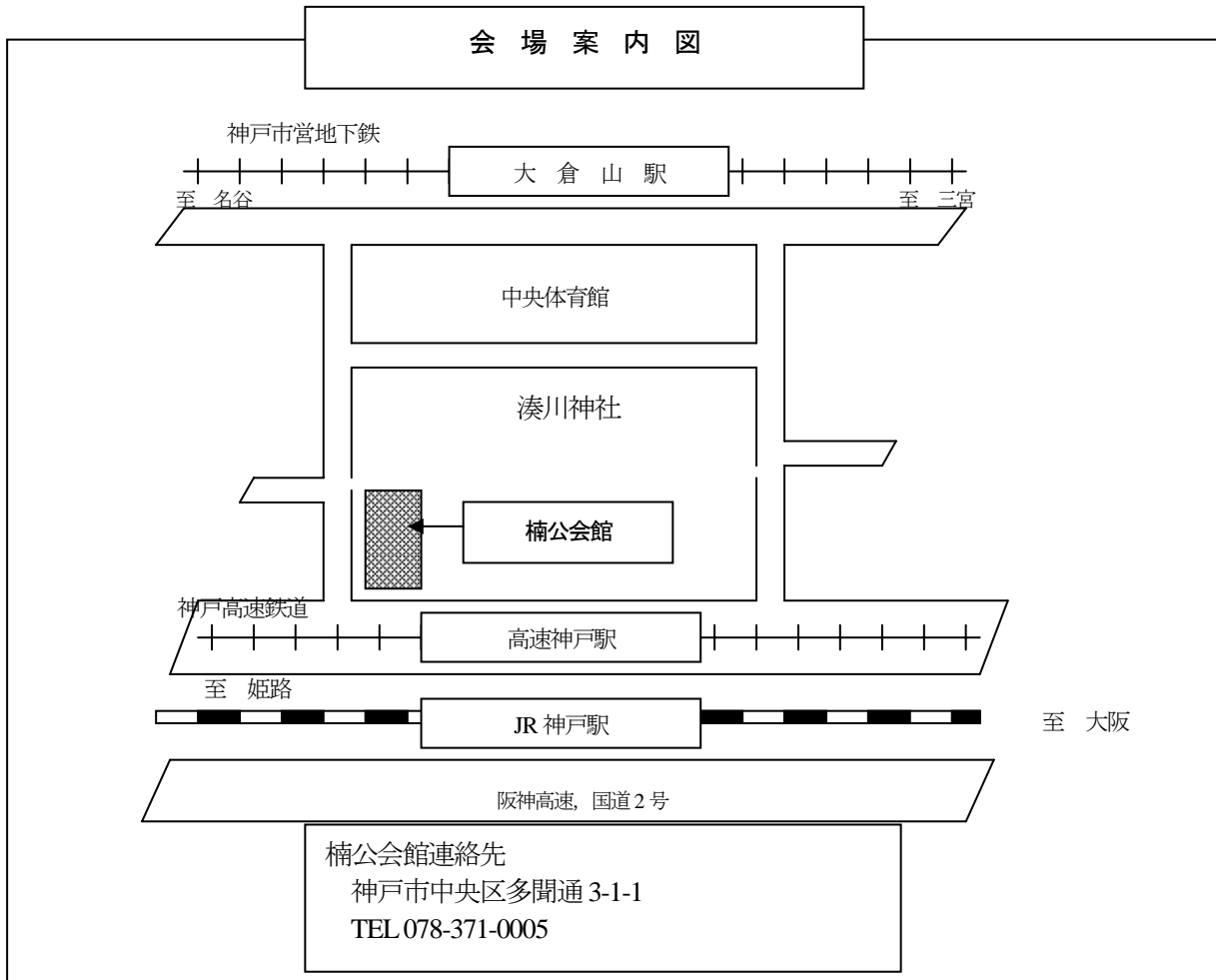
さて、このたび暁木会ニュース第 6 号として、「平成 15 年度総会のご案内」、「暁木会年会費 納入手続状況」のお知らせをし、藤田一郎教授に「神戸大学の近況」を報告して戴きました。

不十分な点多々あるかと思いますが、ご容赦をお願いいたしますとともに、意見等ございましたら、事務局までご連絡くださいますようお願い致します。

1. 暁木会平成 15 年度総会の開催について

平成 15 年度総会を下記のとおり開催いたしますので、ご多忙の折とは存じますが、何卒ご出席の程よろしくお願ひ致します。

- 日 時 平成 15 年 3 月 24 日 (水) 午後 6 時～午後 7 時
- 場 所 湊川神社 楠公会館
(最寄駅は、JR 神戸駅、高速神戸駅、または地下鉄大倉山駅)
- その他 総会終了後、同会館内で懇親会を開催しますので、あわせてご出席いただくようお願い致します。
なお、会費 (会費 5 千円) は当日徴収いたします。



2. 暁木会年会費 納入手続状況の報告

昨年末に暁木会の年会費の納入をお願いしましたところ、会員の皆様には年会費制の導入をご理解いただき、早速お申込を戴きまして、ありがとうございました。

年会費の納入手続は本年1月15日を期限としてお願いしましたが、その時点では全会員数約3,200人中、500人弱の申込でありました。そこで、卒業年次クラスおよび職場班を通じて勧誘のお願いをすることにして、クラス幹事皆様ならびに会員が10人以上おられる行政や企業等の職場班世話役の方々に勧誘のお願いを致しました。

これ等の方々から熱心に勧誘して戴いた結果、今も毎日数人づつではありますが申込を戴いており、2月10日の集計で申込者数625人に達しています。クラス幹事の皆様ならびに職場班世話役の方々のご尽力に感謝申し上げます。今後もこれ等の方々のご協力を戴きながら、初期の目標であります1,000人の登録に向けて努力をしていきたいと考えています。

会員の皆様の中で、まだ申込をされていない方は年会費制導入の趣旨をご理解いただき、早く手続きをして下さいますようお願い致します。また、まだ申込をされていない会員をご存じの方は、手続きの勧誘を戴きますようお願い申し上げます。

※振替登録書の紛失やご不明な点等がありましたら、下記事務局にお問い合わせ下さい。

暁木会事務局；協和設計株式会社

〒567-0877 大阪府茨木市丑寅 2-1-34

設計部 坪本正彦

Tel 072-627-9351, Fax. 072-627-9350

E-mail ; tsubomoto@kyowask.co.jp

〒650-0042 神戸市中央区波止場町 3-4

神戸支店営業推進部 藤原政毅

Tel. 078-393-2011, Fax. 078-393-2012

E-mail ; fujiiwara@kyowask.co.jp

3. 神戸大学の近況報告

1. 大学全体に関連して

周知のように、現在、国立学校設置法に基づいて運営されている国立大学や国立高等専門学校を含めた171機関は、平成16年4月から独立法人化され、国立大学法人法に基づいて運営される97の法人となる。これに伴い、神戸大学は正式には国立大学法人神戸大学と称されることになる。教職員は非公務員となり、従来の国家公務員法等ではなく、労働基準法等によって労働条件が定められるようになる。大学全体の運営は、学長と理事（8名：工学部からは1名）で構成される役員会が重要事項を決定し、経営面での審議を行う経営協議会、教学面を審議する教育研究評議会がこれをサポートする体制となる。

工学部では、来年度からの新工学部長として薄井洋基教授（応用化学科）が選出された。運営組織としては、新たに工学部運営会議（11名）が設置され、これが実質的な工学部の執行部となって円滑な運営を図る機構に変わる。ただ、いずれにしても、学長が年頭の挨拶の最後に「しかし、未だ、不明な要素があり、多大の作業と決定を残しております。確かに、多くの不安定な要素があります。」と述べているように、あわただしい変革の中での新たな船出となることは確かである。

平成15年10月には、神戸商船大学との統合が行われ、学部に海事科学部、大学院に海事科学専攻が設置された。また、工学部の学舎改修工事は、平成15年度予算要求で改修が認められなかった電気電子棟と南北棟の一部を除いて無事完了し、久しぶりにキャンパスに静穏が戻ったところである。

2. 建設学科に関連して

文部科学省21世紀COE（Center of Excellence）プログラムは、世界的な研究教育拠点の形成をめざす大学組織を研究分野ごとに公募によって選考し、研究費の重点配分を行うものである。平成15年度には「機械、建築、土木、その他工学」の分野が公募対象となり、神戸大学からは建設学科（建築＋土木）の研究者を中心とするグループ（リーダー：重村力教授）が申請し、厳しい選考の結果、建築・土木系では全国で約10の大学がCOEに選ばれ、神戸大学も激戦を勝ち残った。課題名は「安全と共生のための都市空間デザイン戦略」で、21世紀の都市空間が備えるべき安全と共生という価値目標の達成を目指した社会・生活基盤の整備戦略・手法を研究の対象としている。詳しい内容はホームページ（<http://www.kobe-u.ac.jp/sasycoe/>）をご参照下さい。

このプログラムは平成15年度から5年間にわたって実施されるが、学内の連携を強化するとともに海外拠点（米国シアトル）、国内拠点（神戸市長田区）を新たに形成し、高度であると同時に地に足のついた研究教育活動を推進していく。このプログラムの円滑な運用と成功のためには、COE研究員の確保、実証研究でのパートナーシップ等、同窓生諸兄の協力が必須であり、ここによりしくお願いする次第である。

教育面では、JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education: 日本技術者教育認定機構)による技術者教育プログラム認定に向けての準備を現在進めているところである。このプログラムは、高等教育機関での教育活動の品質や、技術者として必要な最低限度の知識や能力養成の成果を認定するものである。また、工学部が行うアンケートとは別に土木コース独自の授業アンケートを実施し、その結果をホームページ (<http://www2.kobe-u.ac.jp/~cedwww/>)で公開するなどして、教育の改善に努めている。

通称	教授	助教授	助手
C-1	北村 泰寿	芥川 真一	山本 和宏
C-2	高田 至郎	森川 英典	ラダソン イヴァノフ
C-3	道奥 康治		
C-4		飯塚 敦	河井 克之
C-5	藤田 一郎		神吉 和夫 宮本 仁志
C-6	黒田 勝彦	竹林 幹雄	井料 隆雅
C-8	中山 昭彦*		ジェレミー ブリッカー*
C-9	朝倉 康夫*	富田 安夫*	
C-10	川谷 充郎		野村 泰稔*
TA-1	沖村 孝		鳥居 宣之 上西 幸司
TA-2	田中 泰雄	吉田 信之	
TA-3	川谷 健		斎藤 雅彦
TA-6		加藤 正司	

*: 自然科学研究科専任教官,
TA: 都市安全研究センター

3. 土木系教官の移動 (平成15年4月1日～)

- 15.9.1 野村 泰稔 (関西大学)
 - 自然科学研究科助手 (C-10) 採用
- 15.9.16 ジェレミー ブリッカー(スタンフォード大)
 - 自然科学研究科助手 (C-8) 採用